

ベムリフタ



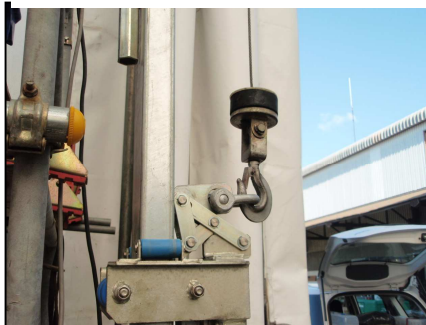
# ワイヤーロープの点検を行って下さい!!

## ワイヤー確認

1. 摩耗の程度
2. 断線の有無
3. 腐食の程度
4. くずれ、その他異常の有無

## 原因

1. 過積載
2. 片方に荷を積む
3. 荷台を下げすぎてワイヤーを緩ませる  
(ワイヤー緩んだ状態で荷を揚げる)



荷台は固定されますので、ワイヤーを伸ばして下さい。



フックをはずし、ワイヤーの点検を行って下さい。



## ワイヤーロープの異常

- ワイヤーロープに次の異常があるときは、運転しないで下さい。
- ・キンク（ワイヤーロープがねじれた状態）
- ・型くずれ、腐食があるもの
- ・ワイヤーロープひとよりの間において素線が10%以上切断しているもの。

## ワイヤーロープの確認

- 運転開始時、ワイヤーロープが正しい巻方向、正しい通路にあるかを確認しワイヤーロープのドラムへの乱巻きを正し、作業揚程に対し、余巻きが3巻以上あることを確認して下さい。
- ご使用前にワイヤーロープがゆるんでいる場合は、きれいに強く巻き直して下さい。乱巻きになりますとワイヤーロープが食い込み、ワイヤーロープ寿命が短くなり、更に逆巻き現象を起こすことにもなります。
- 荷の昇降は垂直に行い、荷を吊り上げる前には、ワイヤーロープが真っ直ぐに張った状態になっているかを確認して下さい。ワイヤーロープにたるみがあると、衝撃によりワイヤーがドラムに巻かれたワイヤー間に食い込み、ワイヤーロープの寿命を著しく低下させる原因となります。